

基本方針

財団の使命である施設管理を通じた産業振興、地域活性化にさらに貢献していくため、新たな顧客開拓に努めるとともに、施設の長寿命化のため計画的な維持管理を行い、施設の持つブランド力向上を図っていく。

I 福井県産業会館・福井県産業振興施設（サンドーム福井）の管理運営事業

1 両施設共通項目

(1) 営業活動

① 体制

- ・福井県産業会館・サンドーム福井の両施設一体となった営業体制を強化する。
- ・毎週、両施設の利用促進グループ員を中心とした合同会議において、施設の利用分析や顧客情報、業界動向、類似施設利用状況などの情報共有を図り、効果的な営業活動で利用促進を図る。

② 活動

- ・福井県産業会館・サンドーム福井それぞれの施設の特徴を活かした利用形態を提案し、利用者のニーズ（幅広い選択肢）に応えた営業活動を実施する。
- ・重要なリピーター（福井県産業会館の自動車ディーラーやサンドーム福井のコンサートプロモーターなど）に対して積極的な営業訪問や情報交換を実施する。
- ・メディアや広告代理店、イベント企画会社などと情報交換を密にし、新たなプロモーターや展示会の開拓に努める。

(2) 広報活動

① 情報誌

② ホームページ

③ SNS

④ ラジオ放送

- ⑤ **新**パンフレット、ホームページ、カレンダー等販促品のリニューアル
時代に合ったデザインに見直し、効果的に活用する。

(3) 入札・契約

- ・清掃・機械警備などの総合管理委託、エレベーター、自動ドア、空調、消防などの設備管理委託の両施設一括契約を引き続き実施するとともに、光熱水費等の抑制に努めていく。

(4) 施設等の管理

- ・施設の長寿命化・老朽化対策としての修繕工事や、設備・備品の定期的な更新、法令に基づく定期点検など、安全・安心な施設提供のための維持管理に努める。

(5) 個別施設の状況

① 福井県産業会館

1.利用目標

- ・今年度は全国大会や記念大会などの全館利用が多く見込まれ、主力の自動車ディーラーなどのリピーターとの日程調整を図りながら安定的な利用を確保し、前年度を上回る利用率、事業収入を目指す。

〈参考〉

利用率	1・2号館平均	令和元年度	63.0%
		平成30年度	68.1%
事業収入	令和元年度	117,084千円	
	平成30年度	121,953千円	

2.施設等の管理

- ・福井県地域防災計画による大規模災害時の物流拠点として、停電時でも施設を72時間稼働可能とするため、県が非常用発電設備の大規模改修を予定している。(65,256千円)

② サンドーム福井

1.利用目標

- ・プロモーターと連携をさらに密にしながら、例年並みのコンサート・リハーサル開催や利用日数の確保を図る。このほか、企業などのコンベンション誘致により、前年度を上回るイベントホールの利用率と事業収入を目指す。

〈参考〉

利用率	イベントホール	令和元年度	56.3%
		平成30年度	58.8%
	小ホール	令和元年度	43.4%
		平成30年度	52.7%
事業収入	令和元年度	175,626千円	
	平成30年度	207,157千円	

2.施設等の管理

- ・今年度の大規模修繕工事として、県がCO2消火設備更新工事と非常用照明器具取替工事を実施する。
- ・イベントホール備品等の収納スペースを拡張し、効率的なイベント開催環境を提供するため、前年度に引き続き倉庫新築工事を実施する。
- ・コンサート主催者等から強い要望のある駐車場不足に対応するため、新たな駐車場の確保に努める。

II 産業・観光情報の提供について

福井県、デザインセンター、県観光連盟、県物産協会等と連携した取り組みを両施設で実施する。

- ・ポスター、パンフレット、PRビデオを活用した県内の観光情報の提供や、国指定伝統的工芸品、県指定郷土工芸品の館内常設展示を行う。
- ・サンドーム福井では、コンサート、産業フェア、自主事業などの大規模イベント開催時に、来場者向けの県産品実地販売を行い、県内産業、観光の情報発信に努める。